

行云流水

No.214 令和4年5月23日発行

「3つのカラー」で舞い、戦った、感動の運動会

校長 寒河江 正人

春季大運動会が幕を閉じました。

生徒諸君、教職員の皆様、おつかれさまでした。

会場で観戦してくださった3学年保護者の皆様、ありがとうございました。

もしかしたら、**マスクの形に「日焼けの跡」**が、くっきりとついた人もいたのでは？

グラウンドの土ぼこりが舞い上がるなか、**赤・青・黒軍の大熱戦**が繰り広げられました。

そのなかで、組頭の長瀬隼介くんが率いる「赤軍」、優勝おめでとう。

矢口栞楠さん率いる「青軍」、滝口侑璃くん率いる「黒軍」の健闘もすばらしかった。

3軍それぞれ一致団結したがんばりに対し、心から大いに**称賛の拍手**を送ります。

1年種目の「**魔法の絨毯**」は、

「跳び手は、ジャンプのタイミングをそろえながら、前方に進む距離を大きくかせぐ。」

「引き手は、ジャンプのタイミングに合わせて、シートの引き幅をかせぐ。」

その「**2つのコンビネーションの妙**」が試される競技でした。

2年種目の「**駆けろ！神中さくらジャパン！**」は、

リレー種目ではあるけれど、バトンの代わりにラグビーボールを使ったのがおもしろい。

全力で走りながらのパス。イレギュラーにバウンドするボール。

目まぐるしく順位が入れ替わるおもしろさが伝わる競技でした。

3年種目の「**殿～、姫～、お急ぎ下され～**」は、

途中でじゃんけんをする「関所」を設けたところがおもしろい。

関所役のじゃんけんの強い先生、弱い先生、いろいろ。

赤軍の引き綱がとれて「再レースのハプニング」もありました。

パワー、スピード、バランス、そして、「運」も試される競技でした。

どの学年も、限られた準備・練習時間のなかにもかかわらず、

よくぞ、ここまで見事に仕上げたものだと大いに感心しました。

競技の終了ごとに「手洗い・手指消毒・給水・休憩」の時間を設け、

「コロナ感染防止対策、熱中症対策」にも万全に取り組みましたね。 （裏面につづく）

後半は、まず「**応援合戦**」。

3軍ともに「**持ち時間5分**」とは思えないくらいに内容の濃いものでした。

トップバッターの**黒軍**は、

リーダーの動き、全体の動き、ともに**きびきびとそろっていて美しい**ところが見事でした。

2番手の**赤軍**は、

スペース全体を有効に活用した動き、内容の構成、ともによく考えられていて見事でした。

ラストの**青軍**は、

黒軍や赤軍とは違って、全体的に**ポッポな動きで楽しさがよく表現**されていて見事でした。

このタイミングで、各軍の**看板**を審査しました。

赤軍の麒麟は、構図・色彩・迫力ともに優れており、炎の描き方が効果的でした。

青軍の龍は、勢いのある動き・構図・着色の工夫がなされており、迫力がありました。

黒軍の虎は、斜め上から見た構図が独創的であり、白と黒のコントラストがきれいでした。

女子種目の「**綱引き**」は、

各チームの「**引くタイミングと呼吸**」「**パワーと持続力**」が試される競技です。

1試合**40秒間**が、とっても長く感じられるくらいに**白熱した闘い**でした。

男子種目の「**障害物競走**」は、

学年ごとに「**いろんな競技種目の要素を詰め込んだ工夫の種目**」でしたね。

スピードを求められるけれど、チームの**呼吸やバランス**を調整する工夫が感じられました。

しめくくりの「**男女混合選抜リレー**」は、

100m区間と200m区間に、**誰をどういう配置にしてレースするのか、**

3軍それぞれの作戦・工夫が感じられました。

目まぐるしく順位が入れ替わり、**最後の最後まで目が離せないレース**となりました。

生徒諸君。

まさしく、君たちが今年度のスローガンに掲げたとおり、それぞれ「**3つのカラー**」で一丸となって「**舞い、戦い**」、そして「**頂点を目指す姿**」が実現された一瞬一瞬でした。

感動の瞬間をありがとう！

閉会式で実行委員長の九十理央菜さんが語った「**感謝の言葉**」。

ともにがんばった「**仲間への感謝**」。

コロナのなか、行事の実施に向けて支えてくれた「**周囲への感謝**」。

またひとつ、生徒諸君が大きく「**成長した証し**」として感じられた瞬間でした。

さすが、実行委員長。すばらしいしめくくりの言葉でした。

もう一度、感動の瞬間をありがとう！！